

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年9月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100219
法人名	医療法人健秀会
事業所名	グループホームどんぐりの里
所在地	鹿児島県霧島市隼人町真孝113番1 (電話) 0995-44-6934
自己評価作成日	令和元年 8月 26日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和元年9月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所が開設し17年目を迎えました。隣接する「たまいきリニック」との連携を密に行い、入居者様の状態変化にいち早く気づき、医療連携のもと日々の生活を健やかに過ごせるように日々努めています。たまいきクリニックが「人工透析」を行っている事から透析患者様の受け入れも可能なグループホームとして大変貴重な施設であると考えます。高齢になると医療の必要性が高まる昨今、医療連携が充実している当ホームでは、ご家族様に安心と安全に配慮した施設作りに力を入れている事が大きなアピールポイントであります。それから霧島市より委託している『まちかど相談所』としての機能もあり高齢から障がい者への支援についても相談できる体制があり、今後の共生社会における地域の拠点として、これからも施設運営を行っていく所存であります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、霧島市の中心地から車で15分程の住宅地に協力医療機関、居宅介護支援事業所に隣接して設置されており、周辺には大型商業施設や自動車会社、マンション、小・中学校、個人住宅等が立ち並んでいるが、幹線道路から一筋控えた場所に位置しているため騒音等は少なく、静かで落ち着いた環境である。開設して17年が経過し、地域密着型サービス事業所として地域住民に周知されて、地域との日常的な交流が密に図られる関係が築かれており、地域のイベントへの参加や、散歩時の会話、友人知人の来訪、ボランティアや施設見学の受け入れ等に積極的に取り組んでいる。また、管理者はライフサポートワーカーの資格を有しており、「まちかど相談所」を開設して地域住民から寄せられる様々な福祉に関する相談に適切に助言している。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者が地域の中で、その人らしく生きがいを持てる暮らしの支援に努めており、誇りや尊厳を大切にしながら利用者の意欲や意思を尊重し、心身の状況に配慮した利用者主体の愛のあるケアに取り組んでいる。また、職員は年度目標を設定して日々の支援のなかでスキルアップに努め、利用者や家族からの意見や要望を把握して、サービスの改善に取り組んでおり、厚い信頼関係が築かれている。

管理者は、日頃から気軽に意見が言い合える雰囲気づくりに努め、支援業務の中やミーティング等で職員の意見や要望を把握し、必要に応じて個人的事情も配慮しながら運営やサービスの質の向上に反映させており、信頼と協力の体制を構築している。スキルアップを図る研修の実施や業務に対する助言・指導を積極的に行い、勤務シフトには可能な限り本人の意向を反映させるなど、職員の意欲向上及び働きやすい職場環境の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	定期ミーティングでの理念の共有と、理念を活用した勉強会の実施。	開設時に作成した理念は、地域密着型サービス事業所の意義を踏まえており、施設長が示したケアの姿勢「3大心得」と共にリビングや玄関に掲示し研修も実施して周知を図っている。毎月のミーティング等でケアの振り返りや意見交換を行い、併せて職員は自身の年度目標も設定して、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のスーパーで買い物すること地産地消の食事提供を行っている。また伝統行事に参加することで地域との交流を図っている。	地域の情報把握に努め、浜下りや馬踊り、地域サロン等の地域行事に参加し、敬老会やクリスマス等、ホームの行事には家族や地域住民の参加が得られている。踊りやマジック等のボランティアや看護学生の職場実習、住民の施設見学等を積極的に受け入れ、日頃の散歩や買い物時には住民との会話を楽しむなど、円滑な交流が図られている。市の委託で「まちかど相談所」を開設し、管理者はライフサポートワーカーとして住民から寄せられる相談に対し適切な助言に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議にて出席された民生員や市担当者から地域での困り事を聞き、行政と連携したりご家族向けに認知症の勉強会を開催し理解に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施しており、ご家族様からのご意見や行政の市担当、他ホームの情報も頂いている。	会議は、民生委員、家族、市担当職員等が出席して定期的に開催している。ホームの現状や行事計画、活動内容の報告を行い、委員からはケアに関する質問や評価、地域の高齢者の情報等が出され、ミニ研修会も実施している。職員は内容を会議録で共有し、サービスの向上に務めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政の市担当者とは運営推進会議や各種研修会にて情報交換を行っており連携している。	市担当職員には、運営推進会議でホームの現況を理解して貰うと共に、介護保険の認定や更新、各種制度の手続き、ケア及び運営に関する相談や協議を行い、助言・指導を受けるなど日頃から協力関係を築いている。市やグループホーム連絡会主催の会合や研修会に積極的に参加して情報交換に努め、業務やサービスの改善に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月に1回定期ミーティングにて勉強会を実施しており、現在身体拘束を検討する利用者様はおりません。	身体拘束については、マニュアルを整備し、適正化委員会も3カ月毎に開催して事例研修や意見交換等で理解を深め、拘束のないケアの実践に努めている。昼間は施錠は行わず、職員は連携して利用者の見守りや対話、寄り添いに努め、尊厳を大切に拘束のないケアの実践に取り組んでいる。不適切な言葉づかいには、職員間で注意し合うなど、日頃から改善に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期ミーティングにて虐待防止の話し合いや勉強会を実施している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部勉強会を利用して高齢者の権利擁護に対する理解を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ケアマネより契約に関する書類の説明・交付をご家族様に行い、同意のもとサイン・印鑑を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様からは日々の関わりの中で意見を抽出し生活に活かしている。ご家族様とは毎月の状況報告や面会時・電話連絡や家族会・運営推進会議にて意見を頂き運営に反映しています。	利用者の想いは日頃のケアの中で理解に努め、家族の意見・要望等は、面会や行事開催時の対話や電話、家族会（年2回）、意見箱、毎月発行の「どんぐりの里だより」等で近況を伝えながら把握している。出された意見等は申し送りやミーティング等で共有し、運営やサービスの向上に取り組んでおり、家族にも対応状況を報告して理解を得ている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期ミーティング時に皆の意見を聞く機会を設けている。また随時管理者と職員で個別に話を聞く機会を作っている。	管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションに努め、業務の中やミーティング、個別面談等で意見や要望を把握し、個人的な事情等も配慮して改善を図っている。業務の改善は全員で協議し、スキルアップを図る研修の実施や資格取得への助言に努め、勤務シフトには職員の意向を反映させるなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全体朝礼や定期ミーティングの時に周知の機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内では全体朝礼への出席、ホーム内ではミーティング時には外部での研修に出席するようにしている。先輩職員が新人職員への指導も随時実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部の研修会の出席の機会を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ささいな行動や表情を見て声かけを行い関わりを持ち信頼関係を築けるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様が気軽に話しかけられる雰囲気を作り、困っている事や不安な事に耳を傾けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>情報収集時に必要とする支援を見極め、より良いサービス提供が出来るよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様の考えとご家族様の意向を尊重し家庭的な雰囲気になるよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その日の状態や最近の状況をご家族様へお話し、ご家族様の意向を聞き入れ同じ方向性を持つよう関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人・知人の訪問は自由にしてもらい、話しやすい環境作りに努めている。	利用者毎に生活歴や家庭環境等を把握し、馴染みに関する情報を共有している。家族や友人等の来訪時には話しやすい雰囲気づくりに配慮し、買い物や一時帰宅、外食、墓参等を家族と連携して支援している。遠方の家族には「どんぐりの里だより」にコメントを添えて近況を伝え、電話や手紙等の取り次ぎも行うなど、関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	その日の利用者様同士の関係を考慮しレクリエーションを行う事で孤立しないように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された方でも、要望があれば分からないサービスの事や病気の事など親身になって対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご意向の聞き取りを行い、プランに反映している。また本人の立場に立った意向の把握にも努めている。	本人の思いや意向を日頃の会話や表情、仕草等で把握し、その人らしい生きがいのある暮らしの支援に努めている。全員での活動に加え、余暇時間の趣味や家事（テーブル拭き等）の取り組みを、利用者の意向や心身の状況に配慮しながら個別の支援に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントの際にはこれまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	様子観察や記録に目を通すことで日々の様子を把握して職員間の情報交換を行い利用者様の状態把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期ミーティングの場面で職員それぞれの意見を聞き、ご家族の意向を踏まえて各入居者の介護のあり方を確認している。	本人・家族の意向や主治医の意見等を把握し、3カ月毎のモニタリングやミーティング時の意見を基に残存機能に配慮した利用者主体の介護計画を作成している。ケアの実施状況は「業務日誌」「バイタルチェック表」「申し送りノート」等に具体的に記録して共有を図っている。心身の状況の変動時には計画を修正する等、実状に即した計画に変更して改善に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日一日の流れを個人記録に記入してもらい検討が必要な内容には職員で話し合い、ケアプランに反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループホームの特徴を活かしたニーズの対応を行い、必要に応じた外部機関との連携を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での行事に参加したり近くのスーパーで買い物をすることで安心して食事してもらい、地域へ外出する機会を心がけている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間体制でたまいきクリニックと連携しており、状態悪化時はすぐに往診・入院対応しており、専門機関への紹介と受診も行っている。	各利用者の病歴等を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受療を支援しているが、殆んどが隣接の協力医療機関を主治医としている。通院受診のほか定期的な訪問診療が実施され、他科受診は家族と連携して対応している。日頃から健康管理を徹底し、協力医療機関との24時間医療連携の体制も構築されており、利用者及び家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的な受診の体制をとっており、緊急時はすぐに報告して指示をもらうように対応している。ホーム内の准看護師の職員を中心にたまいきクリニックと密に連携している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	連携室の方と密に連絡を取りながら、早期退院に向けての情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時、看取り介護についても話をして了解を得ている。また重度化・終末期においては主治医よりご家族様へ説明し理解の上で対応している。	重度化や終末期のケアについては「看取りに関する指針」を整備しており、利用開始時に本人及び家族に説明して同意を得ている。重度化した時点で主治医より病状が伝えられ、家族及び関係者は十分話し合っ可能な限り希望に沿った支援に取り組んでおり、これまで多数の看取りを実施している。ミーティング時に終末期対応の研修を実施し、看取り後はカンファレンスを行ってスキルアップを図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	たまいきクリニックと連携して対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練・防災グッズの管理・避難経路の把握など、職員全員の意識を高めるように努めている。</p>	<p>年2回夜間想定を含む災害訓練を消防署の協力を得て実施し、併せて、連絡網や避難経路の確認やAED講習、消火器の点検等の自主訓練を年2回行っている。報道の災害情報をもとに意見交換するなど、日頃から防災への共通認識に努め、隣接の協力医療機関や居宅介護支援事業所との協力体制は構築されている。今後は地域住民との協力関係の充実を検討中である。スプリンクラーや緊急通報装置を設置し、懐中電灯、ラジオ等の整備や飲料水や食料品、介護用品を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊敬の念を忘れずに一人ひとりの性格や言動を職員皆で把握して対応するように努めている。	利用者の尊厳やプライバシー確保については、ミーティング等で認識の共有を図り、人生の終焉に近い一日一日を大切にケアの実践に努めている。更衣や排泄、入浴時の支援に際してはプライドや羞恥心に特に配慮しており、利用者の残存機能や自己決定を尊重して取り組んでいる。居室やトイレ、浴室等はプライバシー保護に配慮した構造となっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で本人様の意思を尊重した出来ることを積極的に行うようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の状態を確認しながら、声をかけその時その時をどうしていきたいか、話をしながら共に考え過ぎないようにしている。「今日一日」を大切に過ごしてもらいたいと考えている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者様の意向を聞きながら好みの服装から、定期的な訪問理容を活用し身だしなみやおしゃれに気遣っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	刻み食やミキサー食、早めの配膳や別メニューの対応など、その人に応じた食事支援のあり方を職員で話し合う。また片付けやお盆拭き等の手伝いも随時行ってもらい、利用者様と一緒にしている。	食事の制限や形態、栄養バランス、嗜好、旬の食材等に配慮して調理し、下ごしらえや片付け等は利用者も楽しみながら一緒に行っている。法人の栄養士による助言や毎月の給食委員会で改善が図られ、誕生日や季節の行事食、手作りのおやつ、外食、弁当持参の花見、家族との会食など食事が楽しみなものとなるよう工夫しており、口腔ケアもプランに沿って支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	旬の食材を取り入れながら栄養バランスを考え、個々の状態に合わせた食事の提供を行っている。たまいきクリニックと合同で2ヶ月に1回給食検討会を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の習慣になるように声をかけて対応している。また口腔内の異常や気になる事を訪問歯科の時に聞き、必要に応じて治療に入ってもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を元に排泄パターンの把握・おむつ使用量の確認を行っている。少しでも自立した支援が出来るよう個々に応じた対応を職員で共有している。	利用者の排泄パターンを把握し、可能な限りトイレでの排泄を支援しており、利用者の身体状況に合わせた介護用品やケアの方法を介護計画に反映させて改善に努めている。便秘予防については、植物繊維の多い食材や乳製品、水分摂取、運動量に配慮し、主治医とも連携して改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないように乳製品の活用や日光浴の対応、必要に応じた医療機関との連携を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週に2回以上入浴を実施しており、個々の体調・要望に応じて対応している。入浴を希望されない方は清拭を行っている。	基本週2～3回の入浴を、利用者の心身の状態に配慮しながら支援している。ゆっくりと気持ち良く楽しめるように入浴時間や温度、好みのシャンプー、同性介助等は利用者の意向に沿って柔軟に対応し、入浴後は水分の補給や皮膚疾患の処置を支援している。入浴をためらう利用者には、無理強いしないで声掛けや時間、介護者の変更等を工夫し、利用者の意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態合わせ休憩をとってもらったり、安心して休んで頂けるようにエアコンの温度管理や居室環境の整備に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	指示の服薬方法に従い、ホーム内の准看護師と共にクリニックの看護師と連携して対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	塗り絵や歌、個々に応じた楽しみを共に行い、昔懐かしいおやつを提供する事で食べる事の楽しみに繋げている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人・ご家族様の要望があれば、入居者様の体調を見て外出・外泊を行っている。また季節にあった行事等を行い地域の方やご家族様の参加もお願いしている。	利用者の意向や健康状態、天候等に配慮しながら、周辺の散歩や日光浴、近隣のドライブ、買い物などの外出を日常的に支援している。年に数回は計画に沿って、季節の花見や浜下り、初午祭などの地域行事に出かけている。家族との墓参りや一時帰宅、外食、買い物等も行われて利用者の楽しみとなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>近くのお店へお買い物に行く際は本人様にお金を渡してもらうように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話のやりとりについて、ご家族様と本人様の間を取り持ち、お互い話ができるように職員が介入している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間の雰囲気作りは季節に合わせて工夫している。</p>	<p>リビングは高い天井に天窓の構造で明るく、一角に設けられた台所からの音や匂いが感じられて家庭的な雰囲気である。季節の花や行事の写真、手作りの作品などが随所に飾られて、ゆっくりと居心地良く過ごせるようにソファも配置されている。室温や湿度、臭気、整理整頓に配慮され、落ち着いて気持ちよく過ごせる環境になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間内での利用者様同士の関係に配慮して食事テーブルの配置を換えたり職員間で話し合い居場所の工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々が住みやすい環境作りや居室入り口近くに飾り物など配置する事を行っている。</p>	<p>居室はその人らしく落ち着いて暮らせる環境づくりを大切に支援しており、馴染みの家具や家族写真、テレビ、使い慣れた小物等が持ち込まれ、自身の作品も飾り、自宅同様に居心地良く過ごせる雰囲気になっている。各居室にはエアコン、ベッド、タンスが備えてあり、利用者の意向を確認しながら、整理整頓を支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりのADLに合わせて出来ることを活かせるように居室内の家具配置など環境に心がけている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない